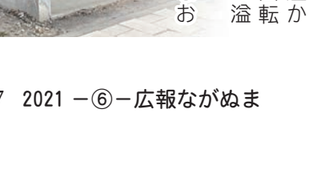

まちトピ！TOPICS

図書購入に役立てて　長沼ロータリークラブ

４月１９日、図書購入に役立てていただきたいと、長沼ロータリークラブ（政角勝雄会長）から１０万円のご寄附がありました。

来年創立３０周年を迎える長沼ロータリークラブ最初の奉仕活動は、図書館への寄附だったそうで、以来長きにわたりご寄附をいただいています。

社会福祉増進への貢献をたたえて

長沼町共同募金委員会

４月２３日、社会福祉法人中央共同募金会から長沼町共同募金委員会（十河義博会長）へ表彰状が贈られ、十河会長と本間良子副会長が、受賞報告のため町長室を訪れました。

これは、長きにわたり助け合いのこころをもって共同募金運動に尽力され、社会福祉の増進に寄与された功績が認められたもので、北海道共同募金会の推薦により道内からは同委員会を含む３団体が、優良地区として表彰されました。

苗木と花の特別贈呈　ながぬま緑の少年団

５月７日、令和３年全国育樹祭開催地を代表して苗木と花の特別贈呈受贈者となったながぬま緑の少年団（山本隆幸会長）へ、リュウキュウマツとアジサイが贈られ、長沼小学校のグラウンドにアジサイが植樹されました。

本来は「みどりの月間（４月１５日～５月１４日）」における緑化行事の一つとして、林野庁などが東京都で開催する「みどりの感謝祭式典」へ出席し、眞子内親王殿下ご臨席のもと苗木などの贈呈が行われる予定となっていましたが、諸般の事情により今年の式典は、残念ながら中止となりました。

中止のおしらせ

広報５月号の包括支援センター通信でお知らせしていた**「脳の健康教室」**は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、今年度の開催を中止することとなりました。

【問合先】「りふれ」内地域包括支援センター（☎ 82-5051）

地域おこし協力隊通信　No.67　マオイ活動だより

佐野ちゃん

観光振興担当
古川　喬士さん

長沼町の皆様こんにちは。地域おこしの古川です。

先日、10年前にインドで書いた走り書きが机から出てきました。そこには「自らを低くする者は人に多く愛される」という諺が書きつけられていて、それを読んだ時、同じ地域おこし協力隊の佐野亜沙美さん、通称「佐野ちゃん」を思い出しました。

佐野ちゃんのお仕事は、シティプロモーション。インスタグラムやフェイスブックなど、様々な媒体を使って長沼町を町内外にアピールする仕事です。

町で彼女が取材している場面に出くわすこともしばしばなのですが、人懐っこく自分の心に正直な取材をし、そして、いつも人から食べ物をもらっている印象があります。

某店の試作ホットドッグとか、某店のゴールデンミルクとか、いつ会っても貰い物を食べたり飲んだりしている。そういう僕もさっき、持っていた「きな粉ねじり」をついあげてしまいました。

何の計算もなく「ぽんっ」と人に近づいて、居心地がいいと感じるからそこにいる。

そうしているうちに「取材に来た協力隊」から、「自分たちの一員」になってしまう資質があって、直売所で売り子さんの手伝いをしている姿も見たことがあるし、アイヌの伝統船「イタオマチㇷ゚」が長沼で製作されていた現場には、強面の職人に溶け込んで雑用をしている佐野ちゃんがいました。

自分を言葉にするときも、大人なんだけど無邪気さを持って表現するから、人の心にすっと入ってくる。毎月この下に掲載される彼女の広報記事も僕は大好きで、「ハンドル取られておしりフリフリ」とか「ぽっかり寂しい」という表現を見ると、「うわっ、佐野まんま！」と嬉しくなります。僕には絶対書けない文章を毎回書いてくる。

地域おこし協力隊という仕事について考える時、人から愛される力が本当に大切だなと思います。彼女にヘルプを頼むと、すごく気持ちよく動いてくれるし、多くを与えるから、多く愛されるとも思うのだけど。

可愛がられる才能、愛される心のあり方。これからも応援しています。

本場仕込みのパイとコーヒー！

シティプロモーション担当
佐野　亜沙美さん

様々なおしゃれ店を手掛けている長沼の大工職人「yomogiya」の中村さんと、カールさんが４月15日、銀座北１丁目にPIES & COFFEE「PIE ME」をオープンしました。

オーナーのカールさんはオーストラリア出身。オーストラリアのメルボルンは、世界一のカフェの街と言われていて、ソウルフードの「ミートパイ」とカフェ文化を融合させた、本場オージースタイルを長沼町に持ってくるというのがこのお店のコンセプト。

道産牛のほほ肉や肩肉を、じっくり煮込んだホロホロシチューで作るパイは、ケチャップをたっぷりつけてガブッと食べるのがおいしい食べ方です。

食材で手に入るものは長沼産を使用し、コンソメから手づくりする、道産牛の骨と玉ねぎなどの野菜とハーブを12時間煮込んだスープもあります。

コーヒーは品質管理が適正に行われているスペシャルティコーヒーを使用し、ペーパードリップではなく、圧力で旨みをギュッと凝縮し、コーヒー本来の味を楽しめるエスプレッソです。

私のおすすめは、ココナッツミルクとソイジュースにピリッと辛いターメリック、シナモンなどをふりかけた「ゴールデンミルク」。これがなかなかクセになる味です。

２００７年メルボルン発祥の「キープカップ（再利用可能なコーヒーカップ）」をマオイエリアで広めたい。マオイエリアのどこにキープカップを持って行ってもコーヒーを入れてくれる、そんな町にするのが目標」と中村さん。

店内のリフォーム工事はもちろん「yomogiya」。配色はオーストラリアのナショナルカラーのグリーンとゴールド。

色彩が圧巻で、目が合ったらドキッとするキャンバス絵画と、外壁にこれまたキュートな絵画を描かれたのは、『ポンキッキーズ』や映画『ハチミツとクローバー』の絵画指導など、多方面で活躍されているイラストレーターのマヤマックスさんです。

カールさんは、ひとつひとつの言葉がとても優しく、丁寧で温かい人柄で、中村さんは、頭の回転がとても速く、センスと魅力で溢れています。

PIES
&
COFFEE

町内にまたひとつ、ステキなお店の誕生です。